

みよちゃん

社協だより

103

令和7年3月10日発行
御代田町社会福祉協議会



広報「みよちゃん」は、あなたの共同募金で発行されています。

馬瀬口地区

「ひだまり号」について

馬瀬口ひだまりの会は、十日・二十日・三十日の月三回、馬瀬口創作館にて開催しています。新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、令和二年から令和四年まで開催日数を減らして実施してきました。

コロナ禍を迎え、外出する機会が少なくなってしまった地区の方がおり、ひだまりの会に行きたくてもいけない方ができました。ひだまりの会のボランティアの皆さんの「なんとか外出の機会を持ちたい」という思いから、令和五年六月から町社協の車を借りて「ひだまり号」（移送支援）を開始しました。

令和七年二月からは、町の移送研修を受けた方が馬瀬口地区の中で数名いたため、地区・地区社協の協力と支援を受けながら個人の車で行っています。

令和六年十一月二十三日

第四十六回御代田町社会福祉大会

大会テーマ「人と人がつながりあう地域づくり」

講演&ミニライブ

演題：誰もが希望を持つことができる地域へ
～依存症・がんの克服とこれから～

講師：NHK「おかあさんといっしょ」
九代目うたのおにいさん

障害児者福祉施設従事

杉田 あきひろ 氏

本大会では、前半は地域福祉活動にご尽力戴いた方への表彰と赤い羽根共同募金会からの感謝状を伝達する式典を執り行いました。後半は杉田あきひろお兄さんをお呼びし、依存症・がんの克服とこれからについての講演とミニライブを行いました。



社会福祉事業功労者 坂回節子さん



感想

杉田さんの実体験を交えた

講演会で、失敗してもやり直せるそれを見守れる社会へ少しでも取り組めるように頑張っていきたいと思いました。

杉田さんの元気な姿、コンサート、とても良かったです。薬や依存症というものが身近にあるものなのだという事。その経験者の方の話が聞くことが出来て、とても良かったです。

SNSが発達したことで色々な事が良きも悪きも情報が入る時代、自分で情報を選んで行動をしたいと思いました。

大会アピール文



土屋八千子さん

1. 地域共生社会の理念の浸透を図り、福祉教育を推進していきましょう！
私たちの地域には、子どもから高齢者、障がい者や外国籍住民など多様な人々が生活しています。福祉を身近なものとして考える機会をつくり、誰もが役割をもって共に支え合うことができるような、きっかけづくりや環境整備に取り組んでいきましょう。
2. 包括的な相談体制の構築に向け、連携と創意工夫に取り組みしましょう！
生活困窮者や障がい者、外国籍住民など子どもから高齢者まで各福祉分野にまたがる複合的な課題に対応するため、福祉関係者の連携を強化するとともに、保健・医療をはじめ、教育や就労支援など多様な分野にも連携を広げていきましょう。
3. 安心して子育てができるための環境づくりを推進していきましょう！
子育て世帯が地域から孤立することなく、安心して子育てや生活ができる環境づくりや地域づくりをめざし、行政と住民が夫々の役割を担い、御代田町全体で協働して取り組みましょう。

令和6年度 御代田町 手話交流会

今年度は、広報等で受講者さんを募り
令和6年10月から12月まで月2回、
計6回の手話交流会を開催致しました。



受講者さんからのアンケートを参考に、令和7年度も、より良い交流会にしていけたらと思います。

是非、手話初心者さん・経験者さん関係なく沢山の方に参加してもらえたらと思っています。

ご受講していただいた皆様、ありがとうございました。(三昌)



佐久聴覚障害者協会会長 岡村和人氏・笠井直子氏
軽井沢町のSLC手のひらの会の皆様を講師に迎え
基本的な手話から手話言語条例についてや、手話の
歴史の一部に触れたり、手話は手だけで話すもの
ではなく、アイコンタクト・顔表情(眉毛・ほっぺ
等)でも会話をするといった身体での表現や、手話
ソング「花は咲く」を学ぶ事ができました。



最終日には、講座を通じての感想を、手話を
交えながら発表していただきました。

皆さん、とても堂々と発表されていて、格好
良かったです。



第33回

2025年2月2日

フォーカス

御代田町ボランティア地域活動の集い

山ノ内町
わくわく
商店街の
歩み



コーディネーター
長野県社協 福澤信輔氏



(右) 馬瀬口サロンひだまりの会
荻原良三氏



山ノ内社協常務理事 鈴木浩史氏
わくわく商店街実行委員長 高相美智子氏



みんなのがっこう 荻原みち子氏
信州こどもカフェパックと愛 柳沢充夫氏



ボランティア地域活動の集い 報告団体紹介

【みんなのがっこう】

「やれる事、出来る事を埋もれさせてしまうのはもったいない!!」自分の事を話している時の生き生きした表情を見て、誰かに話す・教える・引き継ぐという場を作りたいと思ったのが活動のきっかけです。

みんなそれぞれ誰でも先生や生徒になれる場にしたいと、同じ目標に向かって集まった良き仲間の活動です。



【信州子どもカフェパクっと愛】

地域の祖父母や父母などの大人が子どもを見守り育てる三世代のつながりをはぐむ活動として子ども食堂を開いています。地域で見守り育てていければとの想いで食事を通して交流し、地元や各団体からの食材提供などもあり毎回の献立を皆で考えるのも楽しく、知恵を出し合い調理をしています。



【馬瀬口サロンひだまりの会】

「子ども達からお年寄り」まで、馬瀬口区民の誰もが気軽に集まり楽しくふれあえる場所をつくり、地域で支えあうつながりをつくることを目的にはじまりました。ボランティア同士の繋がりや参加者と会うこと、気かけあうことを、大切にしています。



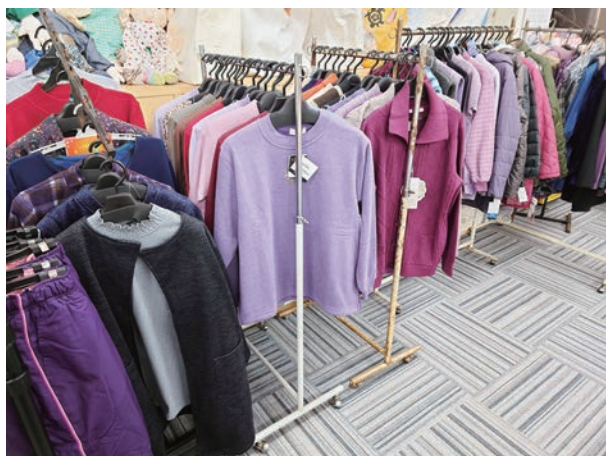
ボランティア地域活動の集い参加者の声

○企画する人もボランティアで協力する人も無理なく楽しくできる事が一番だと思った。
○カレンダーに（予定を）書けることに意味があり大切。

○買い物支援だけでなく縁側サロンによる交流ができる場所となっている。高齢者の皆さんの楽しみになっていました。

「わくわく商店街」を見学してきました

飛松武志



御代田町ボランティア地域活動連絡協議会の研修で、山ノ内町で定期的に行われている「わくわく商店街」の見学に行ってきました。山ノ内町は観光では有名ですが、現実には過疎化や高齢者の買い物弱者化が問題となっていました。これを解決するため山ノ内町社協と商工会、ボランティア連絡協議会が協力し、定期的に町内各商店が一カ所に商品を持ち寄り、販売する形での「わくわく商店街」を開催することになりました。場所は町中心部の「住民活動センター」を活用、町内各商店が商品を持ち寄り、買い物弱者への呼びかけは町社協、一人暮らし

らし高齢者などの移動手段はボラ連やシルバー人材センターが支援し、障害者の共同作業所も喫茶を開くなどして、月2回は開催されているようです。「わくわく商店街」は、会員制ではなく一般に訪れた人もその場で買い物できます。各商店が持ち寄った各種野菜や食料品から日用品、衣料品までさまざまな商品があり、高齢の利用者や支援者が縁側や廊下に椅子を持ち出し皆で交流している賑やかな姿を見て、地元商店の活性化や人々の交流という点や、ひとり暮らし高齢者の「安否確認」という点でも、大変良い効果を上げているなと感じました。



南小コミュニティルーム 「信州で暮らしていこうフォーラム」 参加！

令和6年12月9日、長野県・長野県社会福祉協議会が主催の「信州で暮らしていこうフォーラム」が行なわれ、南小コミュニティルームのボランティア活動が報告されました。



コミュニティルームの参加児童が
作成してくれた作品たち



御代田中学校生徒 「ぞうきんを100枚 作るプロジェクト」

御代田中学校の探究的な学習として、3年生高橋歌恵良（たかはし かえら）さんが作成した「ぞうきん」を御代田町社会福祉協議会へ寄付していただきました。高橋さんはこのプロジェクトを進める中で、担任の先生に相談することや中学校の先生方にタオルを集めるための呼びかけを行い、令和6年11月末に目標だった雑巾100枚を縫い終えることができました。



高橋さんの大切な思いが込められたぞうきんは、町社協の事業所で大切にに使わせていただきます。



JA 女性会御代田支部が東原児童館で、「やしょうま」づくり！

令和7年2月7日（金）、JA 女性会御代田支部のみなさんと、東原児童館「ひだまりっこ」のみなさんとの交流取材しました。



JA 女性会御代田支部では、年に4・5回児童館と交流し、柏もち作り、炭酸まんじゅう作り、クリスマス飾り作り、まゆ玉作りをし、今回は「やしょうま作り」をしました。昔ながらのおやつを作り、または作品作りを通して子どもや孫世代の人たちとの交流はとても楽しく、有意義な時間です。今後も継続して交流していけたらと思います。

JA 女性会御代田支部 仁科

スタッフ大募集 !! 契約(パート)職員募集

【募集職種】

介護職員 ・時給 1,100 円～ 1,400 円
・賞与 年 2 回 (契約により異なる)

【要資格】

・介護福祉士 または 介護職員初任者研修修了者

【休 日】

・週休 2 日制
・年間休日 113 日 (令和 4 年度平均)
・年次有給休暇 6 カ月経過後支給
・特別休暇 (介護休暇、育児休暇、忌引休暇、ボランティア休暇、新型コロナウイルス感染症に係る特別休暇等)

【手当等待遇】

・資格手当 勤務時間により、上限 月 6,000 円支給
・通勤手当 勤務日により、上限 月 15,800 円支給
・扶養手当 1 人 月 4,000 円又は月 6,000 円支給
・住居手当 上限 月 28,000 円支給
・夜勤手当 1 時間 900 円 (22 時から 5 時)
・その他 職場手当、職務手当、早朝・夜間手当
※手当については一定の要件があります。

【その他福利厚生】

・食堂等利用可 (1 食 350 円)
・インフルエンザ予防接種等補助
・各種資格取得の補助

詳しい募集内容等について知りたい方は、
以下の QR コード又は下記のアドレスから。



▲町社協 Web ページ



▲職員募集ページ

私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる
「地域づくり」を担いませんか？
随時募集しておりますので、お問い合わせください。

問い合わせ先：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
ハートピアみよた 総務係
問い合わせ時間：平日の 8 時 30 分～ 17 時まで
☎ 0267-32-1100

寄付御礼

令和 6 年 6 月～令和 7 年 2 月まで
(順不同)

佐久浅間農業組合御代田支所様
金 15,600 円

やまいし株式会社様
金 10,000 円

ななかまど様 金 19,600 円

御代田町ゲートボール連盟様
金 5,000 円

鈴木千代子様 金 30,000 円

加藤千尋様 金 30,000 円

匿名 金 273,451 円

匿名 金 2,909 円

匿名 車椅子 1 台

皆様のご厚情に感謝いたします。

令和 6 年度社協会費実績

一般会員 3,211 世帯

賛助会員 158 世帯

団体会員 1 世帯

特別会員 6 世帯

その他会員 3 世帯

=====

合 計 3,379 世帯

3,753,000 円

上記のうち、3,348,400 円
(約 91%) を各地区社協活動費
として助成いたしました。

皆様から頂きました社協会費は
それぞれの地区における福祉活
動を推進する財源となります。
ご協力ありがとうございました。

令和 6 年度共同募金実績

戸別募金 2,915 件 1,484,103 円

個人大口 325 件 847,500 円

法人大口 95 件 491,000 円

職域募金 3 件 74,561 円

学校募金 3 件 7,427 円

イベント募金 3 件 1,801 円

その他募金 4 件 179,454 円

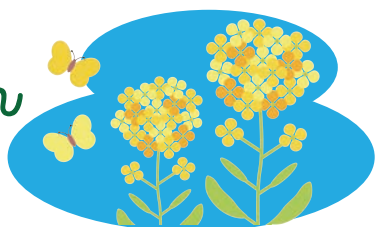
=====

合 計 3,085,846 円

ご協力いただき、ありがとうございました。
頂戴した募金は、町
内県内の地域福祉活動に活用され
ます。使い道につ
いては、右の QR
コードからご覧に
なれます。



社協だより
みよちゃん
No.103



発行日：令和 7 年 3 月 10 日
発行者：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
住所：御代田町大字御代田 1772 番地 1
ハートピアみよた

TEL：0267-32-1100

FAX：0267-32-1111

WEB：https://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/



とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.87



ハートピアみよたで何年振りかの

繭玉作りをしました

馬瀬口区つくしの会 霜田弘子

「むつみ会」で聴いた

門松 尾台和雄さんの昔ばなし

正月に家の入口近くに飾る門松は、年神様が招き寄せられる依代よりしろ（年神様が門松を伝わって家に来る）と考えられ、平安時代から続いている。

暮れ近くの十二月二十五日頃になると家の主人が、年神様が来ると言われる恵方えほう、または明方あきのかたという方向へ松の木を取りに行く。これを年神様を迎えに行くともいう。

山はこの山へ入っても、祝い松という事で許された。枝が上を向いた、芯松三段、五段の奇数段で松かさの多い松が良いとされてきたが、森林愛護の立場から、枝松の枝ぶりの良い松を選ぶようになった。迎え方は年神様の依代であるから、大切に考え選んだ松の根元に、おさんご（散米）を供えてから切った。切った松は今年収穫した稲藁で干した縄で縛り、ていねいに背負って家へ持ち帰る。家の近くにきたら、縁起を担いで遠回りをしてでも、登り道を選んで家に入った。松は神聖なものだから一段高い清潔な場所に置き、またぐことのないようにした。門松を飾る日は「一夜松は飾るな」と言われ、三十一日、二十九日に飾るのを嫌い、二十八日か三十日に飾る家が多かった。

クイズ 答えて消して

山口茂雄さん作

カギ文の答えの文字を、パネルから探して消しましょう。消さずに残ったカタカナを並び替えて答えてください。頭が下がる方々です。



オ	マ	ガ	ボ	ヤ	シ
ジ	サ	ラ	ア	イ	モ
テ	ア	マ	ユ	マ	ン
ン	ク	エ	ヤ	リ	ラ

カギ

1. 町花といえば？
2. 2568 メートルといえば？
3. クラインガルテンがある地区
4. 三重塔がみられるお寺

答え

--	--	--	--	--	--

私達も皆さんから楽しい話を聞けて、「来年もボランティアが出来るといいね！」と互いの健康を誓い合いました。



今年も野菜が沢山採れるといいねー」「昔はこの家でもたくさん作り、硬くなったら茹でて砂糖醤油やきな粉をつけておやつに食べたよ」「どんと焼きに持って行って、焼いて食べたのがうまかったなあ」と、皆さん昔を懐かしく思い出されたようです。

繭玉（稲の花）作りは、小正月頃に作り物の豊作を願って神棚にお供えをしたり家の中に飾ったりしたそうです。飾り物の木の下に子どもは雀になって、突っつきにいったそうです。

私達も皆さんから楽しい話を聞けて、「来年もボランティアが出来る